

アフリカ・アジアからの技術者が中部電力を訪問 日本の電力系統技術を学びます

JICA東京では、日本で電力系統の計画、設計、運用および保守の技術を学ぶことを目的とした研修を実施しており、主にアフリカとアジアの開発途上国から技術者を受け入れています。

開発途上国においても、経済発展のためには電力の安定供給が重要な要素で、発電分野の改善が進みつつある中で、送電、変電、配電部門も並行して強化する必要があり、殊に技術者の養成は急務となっています。今回は日本の電力安定供給の技術を学ぶ研修の一環で、中部電力の給電制御所、変電所等に視察に訪れます。

下記日程にて訪問しますので、是非取材をご検討ください。



昨年度の研修の様子

<取材可能日時・場所>

10月16日(火)

10:30~11:30 / 中部電力岡崎支店給電制御所 視察

13:00~14:00 / 中部電力岡崎営業所 配電自動化システム 視察

14:30~16:45 / 中部電力幸田・上地変電所 視察

※取材をご検討いただける場合、入館申請が必要になりますので 10/15(月)16:00 までに、下記連絡先までご一報いただければ幸いです。一部撮影いただけない機器がございますのでご留意願います。

<研修概要>

研修コース名：電力系統技術

研修期間：2018年10月2日~2018年10月23日

<参加者>

エチオピア、ケニア、ラオス、マラウイ(2名)、ミャンマー、ナイジェリア、ウガンダ、ザンビアの技術者9名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳(英語-日本語)を行います。



今回の研修の参加メンバー

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

◆当日の取材について

JICA 東京 産業開発・公共政策課 門脇

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kadowaki.Megumi@jica.go.jp